

第2回 おの『耳の日』のつどい

平成27年 **3月15日(日)**

13:30~16:00(受付12:30~)

小野市民会館 大ホール



『どっこいおの恋』〔よさこい桔梗〜ききょう〜〕

手話コーラス&ミニ手話講座等

映画『遙かなる甲子園』上映会

参加費

500円

(中学生以上)

1990年公開。聴覚障害児のために建てられた「北城ろう学校」を舞台に、そこで野球に熱い夢を賭ける生徒と教師の姿を感動的に描く。主演：三浦友和 田中美佐子



活動展示〔小野市聴覚障害者協会・小野市障害者福祉協会難聴者部会・小野手話サークルひまわり・おの要約筆記うさぎ〕、福祉機器展示など

問い合わせ先：社会福祉課障がい福祉係 TEL:0794-63-1011 FAX:0794-63-1204

小野市障害者福祉協会事務局（小野市社会福祉協議会） TEL:0794-63-2575 FAX:0794-63-5191

主催：小野市障害者福祉協会

主管：「耳の日」のつどい実行委員会

協力：小野市聴覚障害者協会・小野市障害者福祉協会難聴者部会・小野手話サークルひまわり・おの要約筆記うさぎ・よさこい「桔梗」・兵庫県映画センター・兵庫県立聴覚障害者情報センター

後援：小野市・小野市教育委員会・小野市社会福祉協議会・小野ライオンズクラブ・小野加東青年会議所（予定）ひまわりライオンズクラブ・小野ロータリークラブ・NPO法人北播磨市民活動支援センター

3月3日は『耳の日』

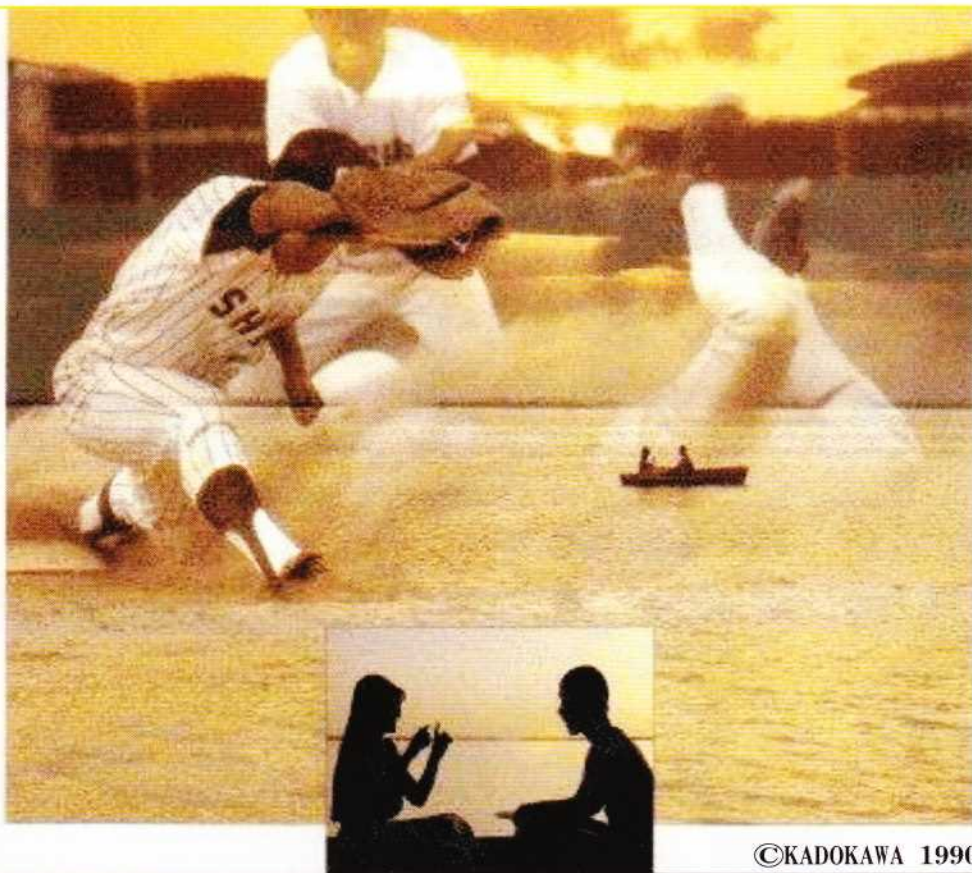
※3の形が耳と似ている

※語呂合わせのミミ

三重苦のヘレン・ケラーにサリバン女史が指導を始めた日であり、電話の発明者グラハム・ベルの誕生日でもあります。

耳に関心を持ち、耳の病気のことだけではなく、健康な耳を持っていることへの感謝や耳を楽しませてあげるために良い音楽などを聞く、そして、耳の不自由な人々に対する社会的な関心を盛り上げるために制定された『耳の日』。

そんな耳の日を記念して各地域でイベントを開催しています。ぜひ、手話や耳に関する様々な情報に触れてみてください。



©KADOKAWA 1990

遥かなる甲子園

【あらすじ】

戸部良也の同名小説

および山本おさむによる同名マンガと、小野卓司のノンフィクション『廃校の夏―風疹児たちのプレイボール』を原作として製作された感動作。聴覚障害を持ちながら、野球に情熱を傾ける球児たちの姿を描く。国弘威雄が脚本を担当し、大澤豊が監督した。

沖繩の風疹聴覚障害児のための聾学校「北城ろう学校」の生徒である真壁敏夫は、夏に甲子園球場で観戦した高校野球の興奮が忘れられず、新城先生に野球部を作ってほしいと願い出る。新城と校長は野球部を創設するが、日本学生野球憲章によると聾学校は高野連への加盟ができないことになっていた。だが試験試合でワールド負けしたにもかかわらず高野連加盟が認められ、野球部は本格的に始動したのだった。